市長と語ろう！元気づくりトーク

市長が、市民と直接、意見交換することで住民参加型行政を推進しようと昨年8月から12月まで市内全域の21カ所で「市長と語ろう！元気づくりトーク」を開催しました。

2、122人の皆さんの参加があり、今後の市政運営に参考となる様々な意見を聞くことができました。

今回は、各会場での発言や意見など、主な案件に対する市長の回答をご紹介します。

二見（10月23日・二見公民館）

Q：二見の第30分団には消防車がなく、自分たちの軽トラックで活動している。どうにかしてほしい。

A：合併して、消防団員の総数は2、500名にもなり、消防車を持たない分団も多いが、30分団については、来年度以降、格納庫と消防車を予算化していきたい。

Q：県道上田浦・二見線の工事が行われているが、早期完成をお願いしたい。

A：この道路は田浦と二見を結ぶ、大変重要な道路と認識している。地元自治体として、芦北町と連携して強く県に働きかけていきたい。

Q：二見は高齢化が進み、耕作されない農地が目立つ。これらの土地を誰かが農作地として利用できるようにできないか。

A：来年度から、新たな制度として品目横断的経営安定対策が施行される。また、農地整備の制度や担い手育成の手段などもいろいろあるので、地元でまとまって市の担当課に遠慮なく相談してほしい。

Q：八代総合病院の診療科目が減っている。今後の見通しは。

A：深刻な問題だと考えている。八代市医師会立病院にお願いして夜間救急の対応を図ってはいるが、市としても、総合病院が本来の機能を果たせるよう、県や八代市医療推進協議会等にも働きかけていきたい。

宮地（10月25日・宮地公民館）

Q：食肉センターは、若者のたまり場になっているようで、犯罪などが心配される。解体の予定や跡地の利用計画などをうかがいたい。

A：補助を受けて建設した施設なので、耐用年数が経過していない現段階では解体が困難な状況である。しかし、あまりに長期間放置するわけにもいかないので、周辺道路の整備状況と合わせ、跡地利用についても、地域の皆さんのご意見をうかがいながら検討していきたい。

Q：東部山麓公園の今後の計画をうかがいたい。

A：現在完成しているエリアだけでも相当の年数がかかっており、昨今の厳しい財政事情も考えると、計画見直しの必要性を感じている。地域の皆さんのご意見をうかがいながら検討していきたい。

Q：八中校舎の建替え計画を、具体的にお尋ねしたい。

A：平成16年度から用地買収に入っており、これに時間を要したが、本年度、地権者のご理解もいただいたので来年度から実施設計に入っていく。校舎の建設は、20年度から21年度にかけて行う予定である。

Q：水無川親水公園にホームレスが住みついており、子どもたちの安全が心配である。どうにかしてほしい。

A：子どもたちの遊び場なので不安だと思う。市でも関係部署による連絡会議を設けて対策を協議しており、説得によって退去した例や生活保護の対象となった例もある。今後も、本人や親族などに対して粘り強く説得を続け、解決を図っていきたい。

太田郷（10月27日・）太田郷公民館

Q：都市計画道路西片・西宮線の具体的な計画内容やスケジュールをうかがいたい。

A：これまで進められている八の字線や緑の回廊線などが完了に近づき、財政上の見込みも立ったので、平成19年度から西片・西宮線の基本設計に入れるよう取り組んでいきたい。

Q：井上第一、第二踏切は、通学時など交通量が多く危険なので、拡幅をお願いしたい。

A：昨年、住民の皆さんからの要望を受け、直ちにJRと協議を行ったところである。まず、第二踏切から着手し、車が相互に通行できるよう、平成19年度に設計、測量、平成20年度に工事の予定で進め、その後に第一踏切に取りかかりたい。

Q：平成23年に博多まで全線開通する新幹線について、新八代駅周辺の具体的な開発計画を聞きたい。

A：現在、以前から計画されている道路、公園、上・下水道等の整備を行っているところであり、今後、交通アクセスの利便性を内外にPRしながら、事業所等の進出を図っていきたい。また、魅力的な観光ルートの整備や物産館を始めとした観光施設についても検討し、新駅の活性化につなげていきたい。

Q：臨港線の住宅展示場には、月平均1、700人が訪れているそうである。臨港線に物産館、案内所、飲食店などを整備し、この集客を観光へと生かしたらどうか。

A：建設的なご意見をありがたく思う。八代においでになった皆さんに満足いただけるよう、新八代駅周辺の整備とも連携を図りながら、観光振興に取り組んでいきたい。

日奈久（10月30日・南部市民センター）

Q：JRAの同意がそろったことで、日奈久も明るい希望が見えてきたと感じている。一日も早く実現させてほしい。

A：今後、このJRAの進出がスムーズに進むよう、JRA側と協議を進め、早期実現をめざして取り組んでいきたい。

Q：温泉センターは、40年来日奈久のシンボルである。老朽化が進んでいるので、大浴場、大広間などを備えた新しい施設が望まれる。

A：現在の温泉センターは、収支や来場者数など大変厳しい状況にある。平成21年に日奈久が開湯600年を迎えることから、この節目にあたって、地元の皆さんと協議しながら施設の建て替えを進めていきたい。

Q：山頭火ゆかりの織屋は全国に誇れるものである。JA倉庫と一体となった整備によって、日奈久の観光振興に期待している。

A：JRAの進出によって、これらの活性化策が促進されると考えている。日奈久を全国に向けてPRできるよう、早期実現をめざして取り組んでいきたい。

Q：日奈久に、避難所を備えた、地域の人が触れ合えるような運動公園を造ってほしい。

A：日奈久地域には、多目的に利用できる防災公園の必要性を感じている。場所等も含めて、これから検討していきたい。

麦島（11月28日・農事研修センター）

Q：麦島公民館は、校区の10年来の要望である。具体的な方向性をうかがいたい。

A：農事研修センターは、農林水産省の補助事業による施設なので、正式な公民館とするのは困難な状況であるが、今後とも住民の皆さんの希望にそった利用ができるよう取り扱っていきたい。

Q：都市計画道路の南部幹線の開通はいつになるのか。

A：南部幹線は、八代市と熊本県で事業を進めており、県にも早期完成の要望を行っているところ。ただ、現在、新幹線という大きな事業が行われていることから、南部幹線の本格的な着手には、今しばらく時間を要すると思われる。

Q：清掃センターの今後の計画をうかがいたい。

A：現在の清掃センターは31年目を迎え、これまでダイオキシン対策の改修などを行ってきた。今後、焼却灰の最終処分場、リサイクル施設なども含め、廃棄物処理について総合的に検討していく。

Q：麦島城跡が文化財として国指定を受けた場合、住民生活へどのような影響があるのか不安である。

A：麦島城跡は、八代城跡、古麓城跡と並んで、八代市の貴重な財産である。地元の皆さんとも良く協議しながら、皆さんの理解が得られるような形で国指定を検討していきたい。

植柳（11月29日・植柳公民館）

Q：植柳校区では、体力・健康づくりに取り組んでいるが、学校施設だけでは不足するので市の配慮をお願いしたい。

A：地区の体育館等については、他の校区でも要望が多いが、現実的に困難である。植柳小体育館の改築の際、社会体育にもより活用できるような整備を行うことで対応したい。

Q：植柳小の運動場は、植柳盆踊りなどの地域行事の会場でもあり避難場所にもなっているが、給水場がないので検討いただきたい。

A：過去、台風時に断水があったとのことで必要性を感じている。イベント時や停電時にも対応できる給水場を整備する方向で進めていきたい。

Q：校区内には、主要道路でありながら一方通行や離合不能な道路があるので、整備をお願いしたい。

A：一方通行は、地元住民の意思の合意があれば警察にお願いしたい。道路整備については、各地区でも要望が多いので、緊急性、必要性が高いものを校区として集約してもらえば対応を検討したいと思う。

Q：植柳小の旧講堂を改修し、植柳盆踊りのけいこ場として活用したらどうか。

A：活用するには耐震基準等を調査する必要があると思う。現在は、市の文化財として保存されている状態であるが、建物の安全性を確認した上で、検討委員会で活用の方法を考えていきたい。

松高（12月8日・松高公民館）

Q：都市計画道路沖・新開線が以前から計画されているが、現在の状況をお尋ねしたい。

A：市内で、都市計画道路の指定を受け、着手できていないものが6箇所ある。松高校区は大型店の立地などで交通量も増えており、優先度も高いと思われるので、なるべく早期に着手できるよう努めたい。

Q：臨港線のコンビニ店西側から入る道路は通学路になっているが、狭くて危険であり、朝の通行規制も住民にとっては不便なので何とかしてほしい。

A：松高校区にとって重要度は高いと認識している。300㍍にもわたるので単年度での整備は難しいが、平成19年度からさっそく取り掛かり、通学路の安全確保に努めたい。

Q：産業、観光など重要な課題はたくさんあるが、なんと言っても子どもは国の財産である。教育に関する市の展望をうかがいたい。

A：教育については、現在策定中の新総合計画に明確にうたいこんでいく。いじめ問題にしても、正面から向き合っていくべきであり、学校も家庭も、ともに連携して互いに責任をもち、命を大切にする心、人を思いやる心などを教えていくことが大切だと考えている。

Q：松高小学校前の道路は、子どもたちにとって大変危険なので整備をお願いしたい。

A：平成19年度に整備を予定しており、車道及び歩道をともに拡幅して安全性を確保したい。

代陽（12月12日・やっしろハーモニーホール）

Q：代陽校区公民館を、ぜひ造ってほしい。

A：市内では、4校区が公民館がない状況であり、代陽校区でもお困りだと思う。校区の方々にもご相談しながら、近いうちに何とか対応を図りたいと考えているので、もうしばらくのご辛抱をお願いしたい。

Q：肥後銀行中支店前の道路は歩道の段差が大きく、高齢者などには大変危険なので整備してほしい。

A：現在、策定中の中心市街地活性化計画の中でも、この道路のバリアフリー化を事業として予定している。できるだけ早いうちに整備に着手したい。

Q：中心部では大型店舗が撤退するなど状況は厳しい。中心市街地活性化への取り組みをうかがいたい。

A：大型店舗の撤退の後には、新たな商業施設が立地する予定である。中心市街地活性化は、多くの市民の意見を反映して策定していきたいと考えているが、空き店舗対策のチャレンジストア事業や元気が出る産業活性化支援事業なども積極的に活用してほしい。

Q：天草架橋への取り組みは。

A：天草架橋については、このたび県等の調査費がついた。十数年前と比べると八代市は新幹線や高速道路が新たに整備され、交通上の重要性も高まっているので、引き続き調査・検討を進めていきたい。

八代（12月13日・八代公民館）

Q：八代校区は、ドーナツ化現象で空き家、空き地が多い。防犯及び防災上で危険なので何とかしてほしい。

A：空き家、空き地については、市も環境や防犯、建築基準などの問題として、いくつかの部門にわたって関連がある。状況をきちんと把握して、行政として指導ができるよう取り組んでいきたい。

Q：八代小学校グラウンドは地域のソフトボール等に利用されていたが、周囲のネットが低く、ボールが外に飛び出して民家に被害があったため、現在は使えなくなっている。ネットを高くするなど対策をお願いしたい。

A：ネットを高くするには支柱の基礎から工事が必要であり、直ちには難しいので、しばらくは使用方法を工夫して安全な利用をお願いしたい。ネットのかさ上げについては、これから十分検討していく。

Q：建馬町の下水道工事について、なるべく早期に着工してほしい。

A：この区域は河川区域なので、堤防保全のため工事等が規制されている。今後も国土交通省にお願いしながら、工法の検討なども行っていきたい。

Q：男女共同参画への取り組みについて、市長の考えをうかがいたい。

A：合併によって、旧八代市で採択していた男女共同参画都市宣言が白紙の状態になっているが、現在、新八代市による新たな男女共同参画の基本計画等を策定する準備を進めているところである。また、市の各種委員会等にも積極的に女性の登用を図っており、今後も尚一層力を入れていきたい。

元気づくりトークQ&Aは今回で終了いたします。